

兄弟姉妹の皆様

私たちのローマのパパ様・フランシスコ教皇様は今回のシノドスにおいて、「第2バチカン公会議を見直し、立ち戻り、生かしてほしい」とメッセージをくださいました。

2022年待降節から、ミサの式次第が新しくなりました。これも、その新しい流れの一つです。

今回はサンパウロ発行 第2バチカン公会議 公文書全集 南山大学監修「第2章 聖体の聖なる秘儀」を解説します。

私たちも、ミサや祈りに主体的に関われるように、一緒に学びましょう。

尚、わかりやすい表現を用いるため、多くの資料を参考にさせていただいておりますことをはじめにお伝えしておきます。

主任司祭 ペトルス・ウィリー・ソバ・ドイ O.C.D.

第2章 聖体の聖なる秘儀

典礼憲章

②7～第二バチカン公会議公文書より～

共同司式：§ 2

- 1 教区における共同司式に関する規律や制限は司教が定めます。
- 2 しかし、ミサの個別司式を行う権限はどの司祭にも常に確保されなければなりません。
但し、
*** 同じ教会で同じ時刻に行うこと、**
*** 主の晩餐の聖木曜日に行うこと**
はできません。

* 共同司式の新しい儀式を作成して、「ローマ司教典礼書」と「ローマ・ミサ典礼書」に付け加えなければいけません。

(つづく)